

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4676800156号
法人名	橋友会
事業所名	グループホーム 南の家族
所在地	鹿児島県志布志市志布志町志布志2丁目27番18号 (電話) 099-472-8486
自己評価作成日	平成26年9月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年9月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、緑が多く海や公園にも近い場所に位置しており自然に恵まれて、散歩などには、いつでも出掛けられる環境にあります。

ケアについては、理念・ケアのモットーを掲げて、一人ひとりの意向を尊重し、その人らしく生活して頂けるようにゆっくりと待つケアを目指して、取り組んでおります。

健康面については、定期的な訪問診療による診察や訪問看護ステーションから週一回の訪問をお願いしたり常勤看護師もおり、医療連携が充実して利用者様の健康管理が密に行われております。

看取りの支援についても家族、医師、訪問看護師、看護師、介護士がチームとなり、本人や家族の思いに沿って行われております。

食事は、新鮮な食材や旬の物にこだわったり、献立も管理栄養士の協力をもらい作成して、美味しい食事の提供に力を入れています。梅干しなども利用者様と一緒に出来る事はして頂きながら手作りしております。

口腔ケアについては、毎食前に健口体操を実施し、毎食後に歯磨きをして頂くように支援しており、必要時は訪問歯科診療をお願いしております。

行事は、毎月の誕生会や法人合同の行事、季節行事にドライブ、バイキングなども取り入れて、笑顔で、楽しくハリのある生活が送れるように取り組んでおります。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

志布志市の中心地ではあるが、周りには緑も多く海も近くにある。法人の広い敷地内の4階建ての1階部分が当ホームになっている。他の階は同法人のケアハウスになっており、4階から志布志湾を眺めることが出来、最近では地域の方々といっしょに花火見学もしている。また津波災害時の避難場所としても提供するなど地域との繋がりも出来ている。

理念とは別に職員全員で作った目標「ケアのモットー」は、毎朝唱和し実践に繋げている。排泄の自立支援では、ポータブルトイレを使用する利用者はいない、排泄チェック表の活用で回数が多い方もいるが、職員全員で日中はトイレへ誘導している。この事は家族の経済的負担軽減にもつながっている。職員は離職者も少なく、利用者の尊厳・プライバシーに配慮し、言葉かけや対応を常に意識付けし、利用者も家族も安心できるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「地域密着の理念」「ケアのモットー」を毎朝全スタッフで唱和し、個々に意識づけ実践している。	理念は朝礼時に唱和している。職員の変化に意識付けの成果が伺える。職員は、お互い注意し理念を共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会の総会に参加させて頂いたり、事業所で行う行事に地域の方々に招待している。年2回の消防訓練にも参加して頂いている。支援サポーターとも蜜に連携を図り交流を深めている。	事業所主催の行事に地域の方々に参加してもらったり、地域の行事へも招待を受け積極的に参加し交流をはかっている。避難訓練は地域も参加をもらい、法人の4階は津波時の避難先に開放している。最近では花見・花火大会時に4階から見学する事もある。地域との交流は日常的にできている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々に運営推進会議に参加して頂いたり、自治会の総会や家族会で認知症の理解や接し方を伝えている。実習生も積極的に受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、利用者様の生活状況や行事等の取り組みを報告し皆様からの意見・要望を聞いている。職員による研修報告、勉強会を開催している。意見・要望は職員会議で話し合いをしサービスの向上に活かしている。	民生委員・行政・家族利用者代表・施設長・地域住民代表などの参加で2ヶ月毎に開催している。会では研修報告・ヒヤリハット事例などを取り上げ、意見・要望を聞き日々のサービスとケア向上に活かしている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者が、運営推進会議に参加されている。生活保護受給者や障害者もいらっしやるので、報告し連携を図っている。	行政担当者の運営推進会議への参加また関係部署への相談や質問・報告等で密に連携を取り、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を中心にミーティングや日々の申し送りで話し合いをし、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。業務の中での言葉使いも「ケアのモットー」に掲げて、周知徹底している。	法人全体の勉強会が年間行事に組み込まれ、ホーム独自の定期的な勉強会では事例検討会を行っている。安全面に配慮し、自由な暮らしの支援に心がけている。言葉使いに於いては、その都度日常的に職員も意識し、お互いに周知徹底している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修参加や勉強会にて、職員が理解をしている。不適切な発言がある時には、その都度注意をして、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、該当者はいないが、成年後見人制度については、勉強会などで、職員に説明し理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事業所のケアに関する考え方や重度化の看取りについての対応方針、医療との連携などの内容を詳細に説明している。介護報酬改定や料金の変更については、家族会などで報告し同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会・運営推進会議に、家族・利用者代表が参加し、意見や要望を伺い、出された意見や要望は、職員会議で話し合い、ケアに反映している。	家族会や電話・面会時に意見・要望を聞きだし反映させている。具体的な内容のアンケートを使い利用者や家族等の気持ちや意見・要望を聞くことを検討中である、出された意見・要望は運営やケアに反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、職員会議を開催し、意見や提案を審議する場を設けている。又、個人面談や親睦会等で、個々の意見を聞ける機会を設け反映させている。	全員参加で毎月職員会議を行っている。法人主催のリーダー研修会や親睦会、ホームでも食事会等職員が意見を気軽に出せる機会を設けている。業務についての意見から、チェックシートの作成をする等業務改善に活かされた事例もある	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状態を把握し、労働時間の調整等を行っている。各自が向上心を持って労働出来るように資格取得に向けた支援や研修への参加を促し、職場環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修には、なるべく多くの職員が参加出来るように計画し、研修報告の場を設けて、全体で知識や情報を把握出来るように努めている。勉強会も職員2人ペアで企画して、進めてもっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連絡協議会や施設部会に参加し、他の施設見学や研修等で、お互いにサービス向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談で生活の状況等を聞き取り、本人の気持ちや要望などを傾聴する事で、安心して生活が出来るように努め信頼関係を築いている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族と事前面談をして、不安に思われている事や要望を聞き取り、ケアの仕方なども話し合いをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>面談時に本人・家族との信頼関係を築き、本人・家族の意向を聞き取り、施設サービス計画書に繋げて、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様は、人生の先輩であるという考えを全職員が共有し、生活文化や季節の料理等を教えて頂きながらお互いに支えあう関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の様子などをホーム便りや支援経過記録で家族に伝えている。行事開催時には、家族へ参加をお願いし、本人を支えていく為の協力関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの理容・美容室に行きつけの理容・美容室へ行って頂くように配慮して、行って頂いている。又、知人が遊びに来られたり、訪ねやすい雰囲気作りをして、交流の支援をしている。	家族の協力で行きつけの理美容室へ行ったり、最近ではホームに来てもらうこともある。また友人がお茶のみ会へ誘い連れ出すこともあるなど、馴染みの関係が途切れない支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の食事時間・レクリエーション等、利用者様同士が楽しく会話したり、作業が出来るように職員も仲と一緒に入り支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所へ移られてからも面会に行ったり、こちらに来て頂いたりする事もあり、継続的な付き合いが出来ている。家族からの相談も随時、体応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、希望や思いを傾聴し、気持ちを汲み取り把握に努めている。困難な場合は、家族等から情報を得ている。	日常生活の中での会話や表情・言動から、その気持ちをくみ取っている。困難な場合には、家族からの情報や聞き取り、電話で把握に努めるなど、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談で訪問し、本人や家族等から生活歴や生活環境を聴き取ったり、入居前のサービス利用の事業所からの情報等で、把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	積極的に記録の記入・確認をして、申し送りで日中・夜間の状態を全職員が把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成時は、本人や家族の要望を聴き取り、アセスメントは、担当職員も一緒に行っている。カンファレンスは、全職員で意見交換が出来るようにしている。サービス担当者会議は、なるべく家族・担当者が出席して頂くようお願いしている。	担当者も交え毎月のモニタリング、3ヶ月毎のカンファレンスや必要に応じての見直しを行っている。家族の役割支援や地域との関わり、また地域サポートセンターの支援も介護計画作成に汲み入れる等、現状に合わせて作成している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を個々のケースに記録し、記録の確認・申し送りで情報を共有している。月末にケアの実践などをモニタリングする事で介護計画の見直し評価を実施している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>緊急な通院の送迎、訪問診療・訪問看護との連携を図る等、柔軟な支援に取り組んでいる。不穏時は、自宅と一緒に行く等の配慮もしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議参加者より地域の情報収集したり情報交換にて、協力関係を築いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。訪問診療や訪問看護との連携により健康管理している。必要時は、通院介助も行っている。</p>	<p>入所前からの本人や家族の希望するかかりつけ医になっている。訪問診療・訪問看護・定期往診など健康管理をしている。他科受診へも家族や職員が連れて行っている。また受診結果は「情報提供書」を家族に送っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤看護師を配置しており、利用者様の健康管理や状態変化に応じた支援を行っている。又、訪問看護の週1回の訪問時に、相談をしたり連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は、サマリーを作成し医療機関に情報を提供している。職員が、洗濯物を取りに行く等頻回に面会に行き、状態把握して主治医に相談しながら早期に退院が出来るようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の指針を定めて、本人・家族の意向を踏まえながら本人にとってどういうあり方が良いか家族・医師・職員が話し合っている。又、連携を図り安心して納得した看取りが出来るように取り組んでいる。</p>	<p>ホームとしての指針を入所時に説明し「看取り看護についての同意書」も作成、関係支援（医師・看護師・家族・職員）をしながら、段階的に確認をして同意をもらいながら、納得した看取りができるように、支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアルを作成して、応急手当の勉強会等を定期的に行う事で、全職員の周知徹底を図り緊急対応が出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し、定期的に地域の方々も参加しての避難訓練を行っている。両館・併設の夜勤者は、一緒に消防の流れを毎日唱和して、安全な避難が出来る体制を作っている。</p>	<p>年2回併設施設や地域近隣の方々も参加して昼夜間想定避難訓練を行っている。緊急用の家族連絡網名簿も作成した。市主催の津波に対する防災訓練にも参加、4階は避難場所として提供し、地域との協力体制を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを大切にして、排泄介助の声かけ等もさりげなく行うようにしている。言葉使いもプライバシーを損ねないように意識付けしている。	利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながら、待つケア・さりげないケアや言葉かけに努めている。法人からも接遇マナーについては指導もあり、職員は日常業務の中で意識付けをしながら支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中で、自分で決めて頂くような場面を作っている。意思表示の困難な方には、声掛けを密に行い、表情等で読み取って、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様に合わせた過ごし方で、起床・食事時間等も本人のペースに沿って行い、本人の気持ちを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替えは、本人にお任せしていますが、介助が必要な方は、本人に伺いながら服を選んでいる。行事や外出時は、おしゃれな服を選んで頂き、お化粧品もしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はなるべく季節の物を取り入れて、季節を感じながら味わって頂くようにしており、竹の子やつわ・梅等は、職員と一緒に下拵えを行っている。バイキング食等では、食べたい物の聴き取りし、取り入れている。片付けでは、お盆拭き等の手伝いをされている。	利用者といっしょに下準備をすることもある。季節の旬の食材を取り入れ味わってもらっている。外食は家族が支援している。弁当持参で花見をしたり、誕生会やソーメン流しなど行事食で食を楽しむ支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士よりカロリー計算したバランスの良い献立を作成してもらっている。又、状態に合わせた献立や量・形態も主治医と連携して提供している。水分摂取量は、チェック表を作成して、確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを施行しているし、夕食後は、ポリデント洗浄出来ている。必要に応じて、訪問歯科診療との連携も図って定期受診している方もおられる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成して、排泄パターンを把握している。日中は、なるべくトイレでの排泄が出来るように支援している。	現状ではポータブル使用者は無く、トイレの回数の多い方もいるが、排泄チェック表の活用と職員の小まめな誘導支援で、自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	おやつなどに繊維質の多いものや水分補給時に乳製品などを提供している。便秘症の方には、腸の動きを良くする為に散歩や水分補給の工夫をし、便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日のバイタルチェックを確認後に入浴の声かけをし、体調や希望に合わせて、職員の見守り・介助で楽しく会話しながら入浴して頂いている。	その日の健康管理に合わせて週2～3回が基本である。状況に応じて清拭や足浴に変わる事もある。職員の見守りの中、介助しながらの会話も利用者の楽しみの一つになる様支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や状態に合わせて、休息されています。お昼寝をされる方もいます。20時頃には、好きな飲み物を飲んで頂き会話を楽しんで休まれます。アロマを提供している方もいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬状で、内容・用量を把握している。服薬時には、利用者様の名前・日付け・いつ服用かを声を出しての確認を職員2人・本人とも行っている。症状の変化がある時は、主治医等と連携を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞・洗濯物畳みや居室の掃除等、出来る事はして頂いている。季節行事では、外出やドライブ・バイキング等も取り入れたり、手作りおやつを作って食べて頂き楽しみや気分転換を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>外気浴や職員と散歩に出掛けたり、地域の行事やバリアフリーツアーにも出かけている。お墓参りなどは、家族と出かけられることが多い。行事で、花見やドライブ等は、全員で出かける。</p>	<p>日常的には敷地内を利用して外気浴や散歩に出かけたり、併設施設へ出かけたり買い物に行くこともある。季節毎の行事に合わせて戸外へ出かけ、季節感を味合う支援もしている。家族の協力で墓参りに行く利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭を所持をしている方はいませんが、家族や本人の意向で、預かり金をして、職員と買い物に行けるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人希望時や送り物や手紙が届いた時等は、職員と一緒に電話をして頂いている。ハガキを作成して、家族や大切な方に出せるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花や利用者様と一緒に手作りした物などで季節感を出している。カウンターには水槽を置き家庭的な雰囲気を作っている。天窓から光が差し込み換気にも気配りして、居心地良く過ごせるように工夫している。</p>	<p>天窓から明るい光が差し込み、金魚も飼われており、壁にはその季節に応じた飾り物、またゆったりとしたソファなど、ホーム内には居心地の良い工夫がされゆっくりと落ち着いて過ごせる環境になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内のソファや畳敷きスペースで利用者様同士で会話を楽しんでもらったりしている。居室や玄関ホールで、独りで過ごされる時間もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていたタンスや椅子等を持ってきて頂いている。居室に家族の写真や孫さんに頂かれた物・自分で書かれた塗り絵等も飾っている。	壁には家族の写真や自分で作った作品を飾り、ホームの物以外にテレビ・椅子等利用者の好みの物を身近に置き、安心して暮らせる配置をし、居心地よく過ごせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	椅子には、本人が解るように名前を貼ったり、居室前には飾り物やのれんで自室が解るように工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない